



今月の大植とびと

東谷 幸子さん (74歳)

今月の表紙は、長年の間婦人協力隊として消防団の活動を支援してきた東谷幸子さんです。

6月2日の消防演習はお疲れさまでした。行進や心肺蘇生法の訓練を行っていましたが、婦人協力隊はどんな活動をしていますか？

まず春と秋の火災予防週間のときに、消防団と一緒に各家庭をまわり火災報知器やガス器具などの点検をしています。再建した新しいお家は問題ないですが、被災しなかったお家は火災報知器の交換時期を迎えるところもあるので、特に気を付けています。ほかにも町外で行われる研修に参加したり、実際に火災があったときの消防団活動の支援を行っています。

できる範囲で活動して、地域の力に

仕事があり生活していれば、消

防団や協力隊に入って活動することを難しいと考えている人は多いと思います。私も日中は海の仕事をしていることが多いのでその気持ちはすぐわかります。なので自分の生活に無理のないように、できる範囲で参加してもらえればいいんです。参加することで地域の力になれるし、その経験や人のつながりが自分を助けてくれることもあります。

協力隊員は全国どこでも少なくなってきたようで、隊員はいつでも募集しています。興味があれば是非参加してみてください。

先輩から引き継いだ活動を大切に

これからも先輩方が消防団や地



域の方と一緒に築いてきた活動と信頼を引き継いでいきたいと思えます。だんだんに消防屯所も全部の地区に完成するので、震災前と同じくらいの活動に戻していきたいです。そして、震災のときもそうでしたが、私たちの活動は地域の方々の助けが必要になるところもあります。そのときは、ご協力をお願いします。